

堺自然ふれあいの森

ニュースレター 第30号

発行：平成27年3月 ふれあいの森パートナーズ(指定管理者)

イベント報告

●みつばちキャンドル作り(平成26年12月13日)

ミツバチの生態などを解説したあと、ミツロウと呼ばれるロウを使ったキャンドル作りを行いました。シート状になったミツロウを切り分けて、色々な形のキャンドルを作りました。中には、芸術作品のような仕上がりになる子も。飾りつけに、シリブカガシのドングリやナンテンの実を添えてきれいなキャンドルが出来ました。



●糸くり体験(平成27年1月10・11日)

カイコの特設展示を行い、生きたカイコの幼虫や日本に生息するカイコの仲間の標本などを展示しました。カイコがどのようにして糸を作り出すかなどを解説したあと、実際にマユから糸を引く体験をしてもらいました。糸繰機を動かすと、マユからすると糸がはがれて行き「すごい」、「うわあ」といった驚きの声が聞かれました。



外部出展報告

●八下西小PTA(平成26年11月15日)

PTA行事として生きもの観察と、クラフト教室を実施しました。生きもの観察は、校内にある子ども森で行い、ビンゴシートを使ってクマゼミの抜け殻探しや生きもの探しをしました。また、クラフト教室では、ガリガリトンボとバンブーアート作りを親子で体験してもらいました。



●サカイエンス(平成27年2月1日)

生きものの生態をテーマにした実験や展示を出展しました。柑橘類(今回はミカン)の葉に含まれるリモネンを使って油性インクを消したり、オオオナモミの引っつく強さの実験などを行いました。飛ぶタネのコーナーでは、沢山の人の折り紙で模型を作って飛ばす体験して頂きました。



小学校及び幼稚園・保育園教員対象の研修会の開催

自然の中には子どもたちの五感を刺激し、小さな生き物が身近に暮らしていることや環境・理科などへの興味を引き起こす魅力があふれています。でも、その面白さが理解できていなかったり、伝え方が分からなかったり、そもそも“虫がちょっと苦手”という教員や保育士もおられます。そんな先生方の不安を和らげるために、野外で遭遇する危険な動植物の紹介やその対処法、虫の捕まえ方や飼育方法、自然体験プログラムなどについて、実物の提示や、実践を交えての講習会を行いました。

5月28日の保育士研修会には20名が、8月6日の小学校教員向けの研修会には2名が参加され、約3時間の研修を熱心に受講し、「これまでは生徒に疑問を投げかけられても、教えてあげられなかったが、少し自信ができました。」等々の感想がよせられました。



第8回里山保全ボランティア養成講座

実施報告

堺市の貴重な緑が残る南部丘陵地域をはじめとする、里山保全に興味・関心を持つ方を対象に、樹林の管理や農作業、生物調査など里山保全に関わる講座を、座学と実習を交えながら実施しました。

第8回となる今回は、2014年7月から12月の6ヶ月間実施し、計13名の方が修了されました。

第1講 [7月]	開講オリエンテーション 特別講座① ほか 初回はふれあいの森の概要説明や園内散策のほか、大阪府立大学の増田教授をお招きし、特別講座「里山保全と公園管理の役割」を実施した。  ▲特別講義①  ▲園内散策	森の学習体験・自然工作体験 毎月イベントとして実施している「森の学習」の活動紹介や環境学習についての講座と、自然物を使った工作の体験を実施した。  ▲森の学習の活動紹介  ▲自然工作体験	第2講 [8月]
	特別講座②・生物調査体験 大阪府立大学の平井准教授をお招きし、特別講座「南部丘陵の自然と生物多様性」と、ふれあいの森に生育・生息する生きものの調査体験を実施した。  ▲特別講義②  ▲生物調査体験	安全講習・樹林管理体験 里山保全に大きな役割を担う樹林の管理について、午前は座学を、午後は実際に野外で樹木の伐採やネザサの刈取りの体験を実施した。  ▲ネザサの刈取り  ▲樹木の伐採	
農作業体験 イベント等で農作業についての学習や収穫体験を行う畑の見学と、実際に耕地・畝立て・播種作業や、落ち葉を使用した堆肥作りの体験を実施した。  ▲畑の見学  ▲農作業体験	講義「ボランティア概論」修了式 ほか 最終回は、今後ボランティア活動を行うについての講座や、全6回の講座を踏まえた園内散策、修了式、座談会を実施した。  ▲園内散策  ▲修了式	第6講 [12月]	

参加者の感想

- 座学では実感できなかった、伐倒作業の難しさや安全の重要性が、実際の作業を通して理解できました。
- 農作業はそれなりにしんどい作業であったが、楽しく、ワイワイと指導していただき、あっという間に感じた。
- 自然のこと、里山のこと、いろいろ幅広く学ばせていただき、より自然への興味が湧いてきた。
- 里山での活動や問題点などを知る事ができ、とても良い経験になった。
- 知る事、体験する事の意義は大きく、今回の活動は私の中に新たな価値を生み出したと感じた。

平成27年度 森の整備計画

ふれあいの森では、毎年11月に森の整備計画を見直し、次年度の実施内容を協議し、作成します。

園内は「保護ゾーン」「復元ゾーン」「活用ゾーン」の3つに分けられ、その中の「活用ゾーン」ではさらに細かい整備エリアが決められています。



1 ショウジョウバカマの谷みち

現在、湧水部の崩落が進んでいる為、散策ルートの一部の通行に支障をきたしています。そのため、周辺地域を含めた整備計画を新たに立案し、着工します。



2 山すそ管理区4

従来の「山すそ管理区4」に「コ克蘭広場」を統合させ、落葉樹主体の整備を一体的に行います。




3 クヌギ育成区

従来の「お弁当広場」の一部と、その上段に既にクヌギの実生を移植したエリアを一つに統一して、「クヌギ育成区」として整備します。



平成26年度 森の整備計画実施報告

雑木林6の林床整備 間伐や大きく成長したシダやネザサの刈取り、落ち葉や腐葉土掻き等の林床整備を進めました。区画内に堆肥場を作り、集めた落ち葉の肥料化を進めています。一番区画の面積が広い為、引き続き整備を進めます。 	チガヤ草原のネザサ刈り 人の背丈以上に繁茂しているネザサの刈取りを進めました。刈取ったネザサは機械で細かく砕き、肥料として活用します。まだネザサが残っているので、刈取り作業は続きます。 	アカマツ再生区の林床整備と実生の移植 林床の落ち葉掻きと下草刈り、実生苗の移植を行いました。以前移植した実生苗も少しずつですが順調に生育しています。12月に区画内の2本の大径木を伐採したため、日当たりがかなり良くなりました。 
---	---	---

巣箱の設置

森の館周辺に巣箱を設置して2年目になります。今年はシジュウカラに加えてヤマガラも利用していることが分かりました。使われた巣材は、シジュウカラはコケや住宅の断熱材など、ヤマガラはコケや針葉樹の樹皮などでした。

	設置した巣箱の数	利用した巣箱の数	利用した野鳥
H25年	6	5	シジュウカラ
H26年	11	6	シジュウカラ ヤマガラ



シジュウカラが利用した巣箱



ヤマガラが利用した巣箱

堺自然ふれあいの森は、平成18年4月の開園以来、大きな事故もなく、10年目を迎えることができました。これも、開園前から携わっていただいているNPO法人いっちんクラブや公立大学法人大阪府立大学の増田教授を始め、指定管理者、そして当園を利用されている市民の皆様のおかげと深く感謝申し上げます。

開園から少しずつ来園者が増え、平成25年度には、20万人を突破しました。今年度は、30校の小学校が環境学習の一環としてご利用いただく予定になっており、過去最高の学校数となる見込みです。

本市の公園緑地行政においても、さまざまな動きがありました。平成22年6月には、「堺市緑の保全と創出に関する条例」を制定、平成22年10月には、南部丘陵における緑地保全の仕組みづくりについて、「堺市緑の政策審議会」へ諮問、平成24年11月の答申を経て、事業を着実に推進してきているところです。さらに、平成25年3月には、今後10年間の緑の保全、創出、育成に関する施策を記載した「堺市緑の基本計画」を改定しました。

平成25年4月からは、大型商業施設への生態展示等といった事業者との連携を始めております。さらに、平成26年12月に運用開始しました「工場立地法における敷地外緑地制度」では、当園近傍の里山に事業者が関わりを持つようになることが見込まれます。

このように、今後は、市民の皆様に加えて、事業者の皆様にも参画していただき、市民・事業者・行政が一体となって緑の保全を進めてまいりたいと考えております。本市では当園を南部丘陵の拠点的な施設として位置付けており、これまで以上にその機能の発揮に期待しております。

これからも、市民の皆様を始めとした多くの関係者、また事業者の皆様とこの堺自然ふれあいの森の魅力向上を目指すのでご協力のほど、よろしくお願いいたします。



ふれあいの森20万人来園者達成記念イベント
【平成25年9月28日】



堺市南部の森と里見学・体験ツアー（事業者の皆様にも里山の維持・管理体験をしていただきました【平成26年2月19日】）

●●●●●●●● お問い合わせ ●●●●●●●●

堺自然ふれあいの森 森の館

〒590-0124 大阪府堺市南区畑1740番地
TEL 072-290-0800 FAX 072-290-0811
ホームページ <http://www.sakai-fureainomori.jp>



発行：堺自然ふれあいの森 ふれあいの森パートナーズ（指定管理者）
※ふれあいの森パートナーズは、株式会社生態計画研究所と
NPO法人いっちんクラブの連合体です。

交通
案内

お車の場合は
「堺公園墓地」を
目指してお越し下
さい。

